

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2031年1月17日まで（2021年1月19日設定）	
運用方針	<p>外国投資法人であるブラックロック・グローバル・ファンズワールド・ヘルスサイエンス・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスI2・円建て）への投資を通じて、主として日本を含む世界各国（新興国を含みます。）の株式等（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行います。なお、証券投資信託であるマネー・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。</p> <p>外国投資法人の投資信託証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	GRAN NEXT ヘルスサイエンス	ブラックロック・グローバル・ファンズワールド・ヘルスサイエンス・ファンドークラスI2・円建ての投資信託証券を主要投資対象とします。
	ブラックロック・グローバル・ファンズワールド・ヘルスサイエンス・ファンドークラスI2・円建て	日本を含む世界各国の株式等を主要投資対象とします。
	マネー・マザーファンド	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	<p>投資信託証券への投資割合に制限を設けません。</p> <p>外貨建資産への直接投資は行いません。</p>	
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

## GRAN NEXT ヘルスサイエンス

第2期（決算日：2023年1月19日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「GRAN NEXT ヘルスサイエンス」は、去る1月19日に第2期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用  
フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様のお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

### 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

### ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		債券組入比率	債券先物比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	MSCI オールカントリー・ワールドインデックス (配当込み、円ベース)	期中騰落率				
(設定日)	円	円	%		%	%	%	%	百万円
2021年1月19日	10,000	—	—	13,253	—	—	—	—	2,406
1期(2022年1月19日)	11,234	10	12.4	16,444	24.1	0.0	—	98.5	5,977
2期(2023年1月19日)	12,799	10	14.0	16,212	△ 1.4	0.0	—	98.5	5,577

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI オールカントリー・ワールド インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の先進国・新興国の株式で構成されています。同指数に対する著作権およびその他の知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) MSCI オールカントリ・ワールドインデックス (配当込み、 円ベース)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(期 首) 2022年 1月19日	円 11,234	% —	16,444	% —	% 0.0	% —	% 98.5
1月末	10,835	△ 3.6	15,905	△3.3	0.0	—	98.8
2月末	10,980	△ 2.3	15,829	△3.7	0.0	—	98.8
3月末	12,365	10.1	17,289	5.1	0.0	—	98.3
4月末	12,536	11.6	16,510	0.4	0.0	—	98.1
5月末	12,492	11.2	16,539	0.6	0.0	—	98.5
6月末	12,980	15.5	16,317	△0.8	0.0	—	98.8
7月末	12,906	14.9	16,779	2.0	0.0	—	98.5
8月末	12,806	14.0	16,982	3.3	0.0	—	98.4
9月末	12,824	14.2	16,019	△2.6	0.0	—	98.5
10月末	13,937	24.1	17,262	5.0	0.0	—	98.4
11月末	13,632	21.3	17,000	3.4	0.0	—	99.1
12月末	13,254	18.0	16,122	△2.0	0.0	—	98.4
(期 末) 2023年 1月19日	12,809	14.0	16,212	△1.4	0.0	—	98.5

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第2期：2022年1月20日～2023年1月19日

## 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第2期首	11,234円
第2期末	12,799円
既払分配金	10円
騰落率	14.0%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は期間の初めに比べ14.0%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

**> 基準価額の主な変動要因****上昇要因**

保有銘柄（SIGNA CORP、MCKESSON CORPなど）が上昇したことや、米ドルやユーロなどの通貨が対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

第2期：2022年1月20日～2023年1月19日

## ▶ 投資環境について

### ▶ グローバル株式市況

#### グローバル株式市況は下落しました。

期間の初めから2022年9月にかけては、ウクライナ情勢の緊迫化を受けた資源価格の上昇などを受けて、高い水準でのインフレ長期化が懸念されたことや、各国の金融引き締めに対する懸念が高まったこと、都市封鎖に起因する中国景気減速懸念が高まったことなどから下落しました。

その後は、堅調な企業決算が発表されたことや、2022年10月の米消費者物価指数（CPI）の上昇率が市場予想を下回ったことなどを受けて、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げペースの鈍化期待が高まったことなどから上昇しました。

### ▶ ヘルスケアセクター株式市況

#### ヘルスケアセクター株式市況は上昇しました。

期間の初めから2022年9月にかけては、ディフェンシブセクターが選好され、上昇したものの、ウクライナ情勢の悪化や、インフレ長期化に伴う各国中央銀行による金融引き締めに対する懸念が高まったことなどから、グローバル株式市況同様に下落しました。

その後は、米国の景気後退懸念などを背景にFRBによる利上げペースの鈍化期待が醸成され、米金利は長期金利を中心に下落したことなどからグローバル株式市況が上昇するなか、同様に上昇しました。

### ▶ 為替市況

期間の初めに比べ、米ドルやユーロは対円で上昇しました。

### ▶ 国内短期金融市場

#### 無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期間の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.010%となりました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

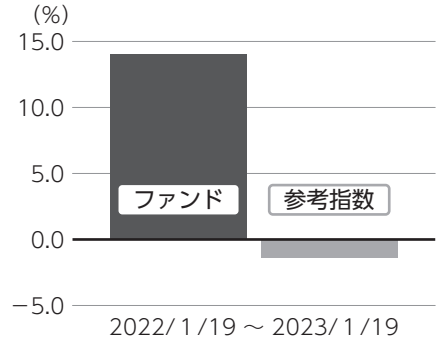
- ▶ **GRAN NEXT ヘルスサイエンス**  
外国投資法人であるブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・ヘルスサイエンス・ファンドの円建ての投資信託証券（クラス12・円建て）への投資を行いました。また、マネー・マザーファンドの投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。
- ▶ **マネー・マザーファンド**  
コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。
- ▶ **ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・ヘルスサイエンス・ファンドークラス12・円建て**  
主として日本を含む世界各国（新興国を含みます。）のヘルスサイエンス関連企業の株式等（DR（預託証券）を含みます。）に投資を行いました。株式等への投資にあたっては、ボトムアップの調査・分析に加えて、ESGに関する各企業の取り組みと、それらが株価に与える影響度を詳細に分析（ESG項目の評価）した上で、各企業の将来の成長性を予測しつつ投資を行いました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCI オールカントリー・ワールド インデックス（配当込み、円ベース）です。

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は配当込みで計算しています。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第2期
	2022年1月20日～2023年1月19日
当期分配金（対基準価額比率）	10 (0.078%)
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,798

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶ GRAN NEXT ヘルスサイエンス

外国投資法人であるブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・ヘルスサイエンス・ファンドの円建ての投資信託証券（クラス12・円建て）を主要投資対象とします。また、マネー・マザーファンドへの投資も行います。

### ▶ ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・ヘルスサイエンス・ファンドークラス12・円建て

引き続き、主として日本を含む世界各国のヘルスサイエンス関連企業の株式等に投資を行います。

株式等への投資にあたっては、ボトムアップの調査・分析に加えて、ESGに関する各企業の取り組みと、それらが株価に与える影響度を詳細に分析（ESG項目の評価）した上で、各企業の将来の成長性を予測しつつ投資を行います。

株式市場は不確実性のある政治、経済環境のため、不安定な状態が続くと考えています。このような環境下では、バリュエーションが魅力的な中長期的に力強いファンダメンタルズをもつ企業を選好します。長期的には、高齢化や医療技術の革新などが追い風になると考えています。引き続き、ヘルスサイエンス関連企業を投資対象とし、ESG評価を行い、中長期的に成長の見込める企業に投資を行う方針です。

### ▶ マネー・マザーファンド

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2022年1月20日～2023年1月19日

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	143	1.133	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(35)	(0.275)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(104)	(0.825)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(4)	(0.033)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	143	1.136	

期中の平均基準価額は、12,664円です。

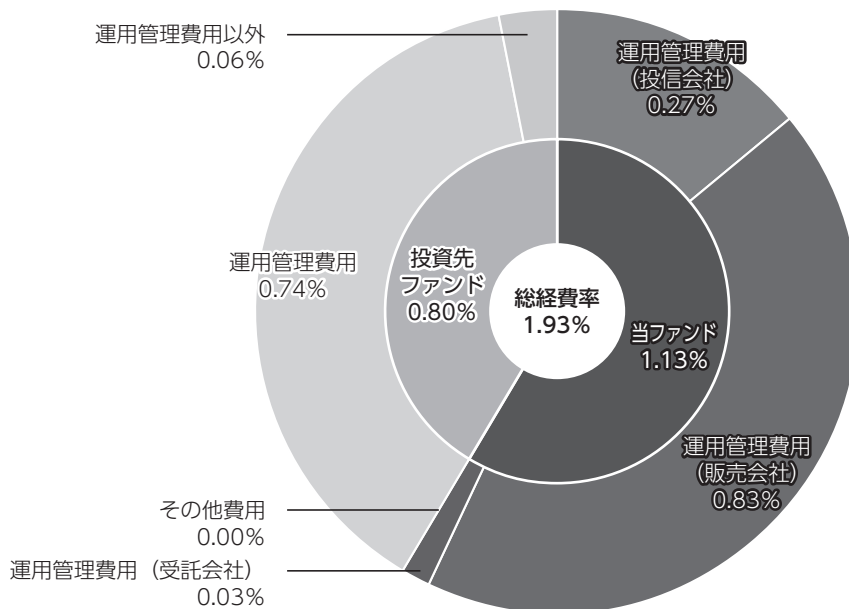
- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

- (注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。
- (注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.93%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.93
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.13
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.74
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	0.06

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2022年1月20日～2023年1月19日)

## 投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・ヘルスサイエンス・ファンド・クラス12・円建て	千口 165	千円 309,820	千口 851	千円 1,602,000

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年1月20日～2023年1月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年1月19日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄		期首(前期末)	当期		期末
		口数	口数	評価額	比率
		千口	千口	千円	%
	ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・ヘルスサイエンス・ファンド・クラス12・円建て	3,572	2,885	5,494,769	98.5
	合 計	3,572	2,885	5,494,769	98.5

(注) 比率はGRAN NEXT ヘルスサイエンスの純資産総額に対する比率。

## 親投資信託残高

銘柄		期首(前期末)	当期	
		口数	口数	評価額
		千口	千口	千円
	マネー・マザーファンド	10	10	9

## ○投資信託財産の構成

(2023年1月19日現在)

項目	当期	
	評価額	比率
	千円	%
投資証券	5,494,769	97.1
マネー・マザーファンド	9	0.0
コール・ローン等、その他	166,736	2.9
投資信託財産総額	5,661,514	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年1月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	5,661,514,473
コール・ローン等	130,355,087
投資証券(評価額)	5,494,769,403
マネー・マザーファンド(評価額)	9,983
未収入金	36,380,000
(B) 負債	83,873,482
未払収益分配金	4,357,997
未払解約金	45,987,117
未払信託報酬	33,443,974
未払利息	37
その他未払費用	84,357
(C) 純資産総額(A-B)	5,577,640,991
元本	4,357,997,768
次期繰越損益金	1,219,643,223
(D) 受益権総口数	4,357,997,768口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,799円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 5,321,520,855円  
 期中追加設定元本額 1,248,961,776円  
 期中一部解約元本額 2,212,484,863円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2799円です。

## ②分配金の計算過程

項 目	2022年1月20日～ 2023年1月19日
費用控除後の配当等収益額	—円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	526,647,927円
収益調整金額	414,426,875円
分配準備積立金額	282,926,418円
当ファンドの分配対象収益額	1,224,001,220円
1万口当たり収益分配対象額	2,808円
1万口当たり分配金額	10円
収益分配金金額	4,357,997円

## ○損益の状況 (2022年1月20日～2023年1月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 41,675
受取利息	470
支払利息	△ 42,145
(B) 有価証券売買損益	594,677,198
売買益	881,439,066
売買損	△ 286,761,868
(C) 信託報酬等	△ 68,014,516
(D) 当期損益金(A+B+C)	526,621,007
(E) 前期繰越損益金	282,911,663
(F) 追加信託差損益金	414,468,550
(配当等相当額)	( 86,073,553)
(売買損益相当額)	( 328,394,997)
(G) 計(D+E+F)	1,224,001,220
(H) 収益分配金	△ 4,357,997
次期繰越損益金(G+H)	1,219,643,223
追加信託差損益金	414,468,550
(配当等相当額)	( 86,073,553)
(売買損益相当額)	( 328,394,997)
分配準備積立金	805,216,348
繰越損益金	△ 41,675

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金（税込み）	10円
----------------	-----

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2023年1月19日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

<参考> 投資する投資信託証券およびその概要

<b>ファンド名</b>	ブラックロック・グローバル・ファンズーワールド・ヘルスサイエンス・ファンドークラス12・円建て
<b>運用方針</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本を含む世界各国のヘルスサイエンス関連企業（医療、医薬品、医療機器・用品、バイオテクノロジー開発の分野で経済活動を行う企業）の株式等を主要投資対象とし、トータル・リターンの最大化をめざします。</li> <li>・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</li> <li>・効率的な運用を目的として、デリバティブ取引を利用することがあります。</li> <li>・資金動向、市況動向によっては、上記のような運用ができない場合もあります。</li> </ul>
<b>主要運用対象</b>	日本を含む世界各国の株式等
<b>主な組入制限</b>	・株式への投資割合は、ファンドの純資産総額の70%以上とします。
<b>決算日</b>	毎年8月31日
<b>分配方針</b>	原則として分配を行わず信託財産の成長をめざします。

運用計算書、純資産変動計算書、投資有価証券明細表はAnnual report and audited financial statements for the financial year ended 31 August 2021版から抜粋して作成しています。

なお、開示情報につきましては、クラス分けされていないものは「ブラックロック・グローバル・ファンズワールド・ヘルスサイエンス・ファンド」で掲載しています。

**(1) 運用計算書及び純資産変動計算書**

**ブラックロック・グローバル・ファンズワールド・ヘルスサイエンス・ファンド**  
2021年8月31日に終了する期間

ワールド・ヘルスサイエンス・ファンド  
米ドル

<b>期首純資産</b>	<b>9,796,456,452</b>
<b>収益</b>	
預金利息	-
債券利息、源泉徴収税控除	-
スワップ利息	-
エクイティリンクノートに係る収益	-
短期金融商品による利息	-
集団投資スキームによる収益、源泉徴収税控除	518,679
配当金、源泉徴収税控除	121,894,753
差金決済契約配当金、源泉徴収税控除後	-
有価証券貸付による収益	1,255,780
投資運用報酬割戻	-
<b>収益合計</b>	<b>123,669,212</b>
<b>費用</b>	
預金支払利息	6,991
差金決済契約に係る支払利息	-
スワップ利息	-
金融資産のネガティブ・イールド	-
差金決済契約支払配当金、源泉徴収税控除後	-
年間サービス料	25,669,178
ローン契約料	84,643
保管および預託報酬	1,392,075
販売報酬	14,947,886
税金	5,783,334
投資運用報酬	158,143,693
投資運用報酬の免除	-
<b>費用合計</b>	<b>206,027,800</b>



ワールド・ヘルスサイエンス・ファンド  
米ドル

<b>投資純損益</b>	<b>(82, 358, 588)</b>
<b>実現純評価益／（損）：</b>	
投資有価証券	663, 537, 629
事後通告証券契約	-
差金決済取引	-
上場先物取引	-
オプション／スワップション契約	-
スワップ取引	-
先渡為替予約	1, 047, 558
その他の取引に係る外国通貨	(456, 072)
<b>当期実現純評価損益</b>	<b>664, 129, 115</b>
<b>未実現純評価益／（損）の純変動額：</b>	
投資有価証券	1, 457, 601, 256
事後通告証券契約	-
差金決済取引	-
上場先物取引	-
オプション／スワップション契約	-
スワップ取引	-
先渡為替予約	(2, 766, 774)
その他の取引に係る外国通貨	(42, 874)
<b>当期未実現純評価益／（損）の純変動</b>	<b>1, 454, 791, 608</b>
<b>運用による純資産の増加／（減少）</b>	<b>2, 036, 562, 135</b>
<b>資産の変動</b>	
投資証券発行による正味受取額	6, 427, 935, 870
投資証券買戻しによる正味支払額	(4, 182, 815, 522)
<b>資産の変動による純資産の増加</b>	<b>2, 245, 120, 348</b>
配当額	(22, 730)
為替調整	-
<b>期末純資産</b>	<b>14, 078, 116, 205</b>





## マネー・マザーファンド

### 《第4期》決算日2023年1月19日

[計算期間：2022年7月20日～2023年1月19日]

「マネー・マザーファンド」は、1月19日に第4期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第4期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてわが国の短期公社債等に投資を行います。市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	わが国の公社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

### ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		債組入比率	券率	債先物比率	券率	純資産総額
	期騰落	中率					
(設定日) 2021年1月19日	円 10,000	% —	% —	% —	% —	百万円 11	
1期(2021年7月19日)	9,995	△0.1	55.7	—	—	1,348	
2期(2022年1月19日)	9,992	△0.0	60.3	—	—	996	
3期(2022年7月19日)	9,987	△0.1	56.9	—	—	650	
4期(2023年1月19日)	9,983	△0.0	59.4	—	—	707	

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
				騰 落	率				
	(期 首)		円		%		%		%
	2022年	7月	19日	9,987	—		56.9		—
		7月	末	9,987	0.0		57.0		—
		8月	末	9,987	0.0		59.9		—
		9月	末	9,986	△0.0		53.3		—
		10月	末	9,985	△0.0		76.0		—
		11月	末	9,984	△0.0		57.2		—
		12月	末	9,983	△0.0		52.1		—
	(期 末)								
	2023年	1月	19日	9,983	△0.0		59.4		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

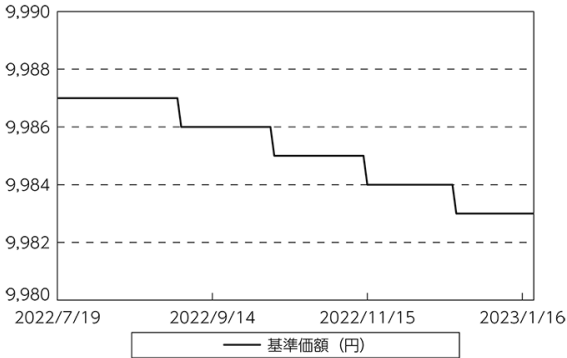
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べて0.04%の下落となりました。

基準価額等の推移



## ●基準価額の変動要因

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎国内短期金融市場

- ・無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。
- ・当期間の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.010%となりました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

## ○今後の運用方針

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2022年7月20日～2023年1月19日)

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

(2022年7月20日～2023年1月19日)

## 公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	54,789,965	54,739,831

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

## ○利害関係人との取引状況等

(2022年7月20日～2023年1月19日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年1月19日現在)

## 国内公社債

## (A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当		期		末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	420,000	420,189	59.4	—	—	—	59.4
	(420,000)	(420,189)	(59.4)	(—)	(—)	(—)	(59.4)
合 計	420,000	420,189	59.4	—	—	—	59.4
	(420,000)	(420,189)	(59.4)	(—)	(—)	(—)	(59.4)

(注) ( )内は非上場債で内書き。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(注) 現先の組み入れがある場合、現先は国債証券に含めて記載。

## (B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第1125回国庫短期証券※	—	420,000	420,189		—
合 計		420,000	420,189		

(注) ※印は現先で保有している債券です。

## ○投資信託財産の構成

(2023年1月19日現在)

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比 率		
公社債	千円	%		
	420,189	59.4		
コール・ローン等、その他	287,390	40.6		
投資信託財産総額	707,579	100.0		



## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年1月19日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	707,579,844
コール・ローン等	287,390,844
国債証券(評価額)	420,189,000
(B) 負債	187,170
未払解約金	187,087
未払利息	83
(C) 純資産総額(A-B)	707,392,674
元本	708,620,900
次期繰越損益金	△ 1,228,226
(D) 受益権総口数	708,620,900口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,983円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 651,807,464円  
 期中追加設定元本額 665,042,045円  
 期中一部解約元本額 608,228,609円  
 また、1口当たり純資産額は、期末0.9983円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

GRAN NEXT マナーブルファンド	673,333,913円
MUFG ウェルス・インサイト・ファンド(マナーブル)	35,036,787円
ビルドアップ型 ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド2021-04(限定追加型)	200,200円
GRAN NEXT ヘルスサイエンス	10,000円
GRAN NEXT フード	10,000円
GRAN NEXT エネルギー	10,000円
GRAN NEXT テクノロジー	10,000円
GRAN NEXT モビリティ	10,000円
合計	708,620,900円

- ③純資産総額が元本額を下回っており、その差額は1,228,226円です。

## ○損益の状況 (2022年7月20日～2023年1月19日)

項目	当期
	円
(A) 受取利息等収益	△ 378,466
受取利息	△ 287,579
支払利息	△ 90,887
(B) 当期利益(A)	△ 378,466
(C) 前期繰越損益金	△ 818,641
(D) 追加信託差損益金	△ 937,584
(E) 解約差損益金	906,465
(F) 計(B+C+D+E)	△1,228,226
次期繰越損益金(F)	△1,228,226

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。